

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37641	
事業名	建設産業活性化推進費						
評価担当課	所属名	建)土木部 業務課					
	課長名	古源 靖則	担当者名	森崎 恒	電話番号	211-2612	
施策名	主	誰もが活躍できる社会の実現					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ● その他					
	目的	短期	就業環境改善などに対する助成金制度の拡充のほか、担い手確保・育成や生産性向上等に資する各施策を推進していく。 (目標)支援制度の年間利用件数 2018:73件⇒2022:200件				
		長期	建設産業の活性化を図り、将来の建設産業の持続可能な体制につなげることを目指す。				
	取組内容	2020年5月に策定した「さっぽろ建設産業活性化プラン」に基づき、以下の各種取組を実施。 ①建設産業の魅力向上や市民理解の醸成 ②建設産業の働き方改革の推進 ③担い手確保に向けた取組推進 ④人材確保、品質確保や地域貢献等に取り組む企業の支援 ⑤企業の経営基盤の強化と適正な利潤の確保 ⑥生産性向上につながるICT・Constructionの推進					
実施結果	・ICT導入に関する新たな助成メニューを創設 ・中高生を対象とした建設産業PRパンフレットを作成・配布 ・市発注工事における週休2日試行拡大や施工時期の平準化につながる早期発注等を実施 ・市発注工事におけるICT活用工事や遠隔臨場試行の適用 ・さっぽろ建設産業活性化推進協議会の開催(2回)、企業アンケートの実施						
事業実施における工夫点	・助成金制度の利用拡大に向け、企業に配布する助成金チラシをリニューアルした。 ・コロナ禍においても取組を継続するため、書面会議や感染対策を行った上でのイベント参加を行った。						
対象者	市民・建設産業(業界団体)・企業			開始	令和2年度	終了	令和6年度
関連法令・条例・要綱等	働き方改革関連法 新・担い手3法(品確法、入契法、建設業法)						
他都市の状況	国や他の都道府県、政令市においても建設業のイメージアップや入職促進のため、PR事業や助成制度を実施している事例が増えてきている。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	19,526	33,000	18,063	43,000	
うち特定財源	500	0	0	0	
人工	0.0	0.0	1.0	1.0	
人件費	0	0	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	19,526	33,000	25,263	50,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	【各種助成事業】13,826千円 【プラン推進費】1,437千円 【その他事務費】2,800千円			
	令和4年度予算	【各種助成事業】22,150千円 【プラン推進費】15,992千円 【その他事務費】4,858千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	助成・支援制度等の利用件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	72	171	91	125
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	【各種助成金制度】利用件数増(2018:73件⇒2021:91件) 【建設産業のPR】各種ツアーやイベントの実施、PRパンフレットの作成・配布等 【働き方改革推進】市発注工事における週休2日試行拡大及び施工時期の平準化推進等 【生産性向上推進】市発注工事におけるICT活用工事や遠隔現場試行拡大等 【業界との連携強化】さっぽろ建設産業活性化推進協議会の開催、企業アンケートの実施等		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	・建設産業の持続可能な体制確保に向け、業界との意見交換を行いながら各取組を進めており、企業の取組を支援する各種助成金制度については、利用件数が年々増加するとともに利用企業からは良い評価を得ていることなどから、事業規模は妥当であると考えます。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	・事業の実施手法については、直営を基本としながら外部委託が可能なもの委託を行うなど、効率的な実施に取り組んでいる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	・助成金制度の利用者やツアー参加者に対するアンケートにおいて、制度やツアーに対する満足度が高く、次年度以降も利用したいという意見が多く寄せられている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	・業界との意見交換や各取組の実施状況等に応じて、適宜見直しを行いながら事業を進める。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	助成金制度の利用者や各種ツアーなどの参加者から良い評価を受けており、効果的に事業を進められていると判断している。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 市内企業の担い手確保に向け、建設産業のイメージアップにつながる広報PRを強化する。		
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 広報PRの強化に係る予算の拡充。		見直し効果額 0 千円